【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2000-233075(P2000-233075A)
【公開日】平成12年8月29日(2000.8.29)
【出願番号】特願平11-36526
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０７Ｆ　17/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　13/00　　Ｋ
Ｇ０７Ｆ　17/32

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月15日(2006.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の遊技者間で対戦可能に構成されたゲーム装置において、
遊技者の各々が操作する複数の操作部と、
各遊技者からクレジットを徴収処理する手段と、
遊技者ごと徴収された前記クレジットから、前記操作手段の操作に基づいて設定された保証額を徴収額として減額演算する保証金徴収手段と、
前記徴収額について予め定められた割合で手数料を演算し、該手数料を該徴収額から減額演算し、その減額演算の残金を当該ゲームにおける遊技者ごとの積立額として各遊技者に利用可能となるよう帰属状態を設定する手数料徴収手段と、
当該ゲームにおいて負けた遊技者から徴収した該積立額の帰属が、当該ゲームにおいて勝った遊技者に帰属するように該帰属状態を変更する帰属関係変更手段と、
を備えたことを特徴とするゲーム装置。
【請求項２】
前記手数料徴収手段が手数料を徴収した場合に、当該手数料に対応する表示を行う画像表示手段
をさらに備えた請求項１に記載のゲーム装置。
【請求項３】
前記画像表示手段には、前記保証額、前記積立額、前記手数料、前記ゲームへの参加料または前記帰属状態の少なくとも１以上が表示される、
請求項１に記載のゲーム装置。
【請求項４】
複数の遊技者が参加可能に構成されたゲーム装置において、
遊技者の各々に対してゲームへの参加態様を問い合わせる期間を設定し、当該期間内に遊技者の参加態様の指定がされなかった場合には、当該遊技者が所定の参加形態を選択したものとして処理すること
を特徴とするゲーム装置。
【請求項５】
遊技者の各々が操作する複数の操作部と、

遊技者の各々に対してゲームを継続するか放棄するかを問い合わせる期間を設定する時間計測手段と、
前記問合せ期間中に対応する操作部が操作されなかった場合に、当該操作部に対応する遊技者が当該ゲームを放棄した旨のフラグを記憶手段に格納する継続／放棄決定手段と、
を備える請求項４に記載のゲーム装置。
【請求項６】
前記記憶手段に当該ゲームを放棄した旨のフラグが格納されている場合には、当該フラグに対応する遊技者に代わって当該ゲームへの操作を指示するゲーム代行手段
をさらに備えた請求項５に記載のゲーム装置。
【請求項７】
複数の遊技者が参加して実施されるゲーム処理方法において、
ゲームを実施する場合に、各遊技者から徴収した徴収額について予め定められた割合で手数料を計算する手順と、
当該手数料を前記徴収料から減額した残金を当該ゲームの積立額として使用するように処理する手順と、
を備えたことを特徴とするゲーム処理方法。
【請求項８】
複数の遊技者が参加して実施されるゲーム処理方法において、
遊技者の各々に対してゲームへの参加態様を問い合わせる期間を設定する手順と、
当該期間内に遊技者の参加態様の指定がされなかった場合には、当該遊技者が所定の参加形態を選択したものとして処理する手順と、
を備えたこと特徴とするゲーム処理方法。
【請求項９】
請求項７または請求項８に記載のゲーム処理方法に規定された各手順をコンピュータに実現させるためのプログラムが記録された機械読み取り可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明のゲーム装置は、複数の遊技者間で対戦可能に構成されたゲーム装置において、遊技者の各々が操作する複数の操作部と、各遊技者からクレジットを徴収処理する手段と、遊技者ごと徴収された前記クレジットから、前記操作手段の操作に基づいて設定された保証額を徴収額として減額演算する保証金徴収手段と、前記徴収額について予め定められた割合で手数料を演算し、該手数料を該徴収額から減額演算し、その減額演算の残金を当該ゲームにおける遊技者ごとの積立額として各遊技者に利用可能となるよう帰属状態を設定する手数料徴収手段と、当該ゲームにおいて負けた遊技者から徴収した該積立額の帰属が、当該ゲームにおいて勝った遊技者に帰属するように該帰属状態を変更する帰属関係変更手段と、を備えたことを特徴とする。
すなわち、本発明は、複数の遊技者が参加可能に構成されたゲーム装置において、ゲームを実施する場合に、各遊技者から徴収した徴収額について予め定められた割合で手数料を計算し、当該手数料を徴収料から減額した残金を当該ゲームの積立額として使用可能に構成されていることを特徴とするゲーム装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】

本発明のゲーム装置は、さらに手数料徴収手段が手数料を徴収した場合に、当該手数料に対応する表示を行う画像表示手段を備えていてもよい。

ここで、画像表示手段には、保証額、積立額、または帰属状態の少なくとも１以上が表示される。